

8月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年8月末現在〕

令和2年9月11日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、すべてで改善した。

業種別に見ると、製造業では、「売上高」は悪化したが、「景況」「収益状況」は改善した。

非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで改善した。

全体には7月の悪化の反動による影響が大きいですが、一部小売業で猛暑による需要増で売上高が増加するなど好材料があり、非製造業の数値が改善し、全体の数値を押し上げた。

景況DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の-65.4ポイント、非製造業は、前月比16.7ポイント改善の-33.3ポイント、全体では、前月比10.0ポイント改善の-50.0ポイントになった。

売上高DI

製造業は、前月比19.2ポイント悪化の-76.9ポイント、非製造業は、前月比41.6ポイント改善の-4.2ポイント、全体では、前月比10.0ポイント改善の-42.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の-73.1ポイント、非製造業は、前月比33.3ポイント改善の-29.2ポイント、全体では、前月比18.0ポイント改善の-52.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	給食パンの操業度は夏休み期間の短縮等で例年より上昇しているが、7月と比較すると低下している。3・4・5月とほぼ稼働していなかった分、少しでも戻していかないと年間を通しての採算が取れない。未だ新型コロナウイルスの終息が見通せない中、再び悪夢の一斉休校が起きる可能性があることが最大の懸念事項。
	味噌	新型コロナウイルスの影響で体験教室や工場見学の縮小等により営業活動の縮小を余儀なくされ、今後も売上減少が予測される。
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県7月の清酒課税移出数量は、緊急事態宣言が解除されているものの新型コロナウイルス感染拡大第2波の到来により、清酒全体で対前年同月比86.8%に落ち込んだ。本格焼酎については6月とほぼ同率の対前年同月比76.5%であった。清酒については高級酒である特定名称酒に対して全体量の43%の普通酒が対前年同月比70.4%と低位であった。清酒の輸出については、新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みから戻ってきており、7月の輸出数量（全国ベース）は前年同月比80.0%となっている。しかし、輸出の回復（対前年同月比100%以上）には時間がかかる見通し。 ○県内当業界について 当業界は新型コロナウイルスにより非常に大きな影響を受けており、治療薬が行き渡るか収束するまではこの状況が続くと思われる。withコロナの新しい営業が必要となる。行動が制限されるなかで、家飲みの推進や飲食店への高級酒の売り込みがキーポイントとなる。
	納豆	納豆関係は大変厳しい。8月は前年同月比で土産品の売上は40%以下となり厳しくなるばかり。一般消費者向けの納豆も暑さにより売上減少。
	菓子	依然として客数が減少している。イベントやお祭り等の行事中止、鹿島スタジアムの鹿島アントラーズの観客も5,000人の収容制限を設けており、人の動きがない。
	漬物	現状はあまり変わらない。消費は悪くなってきている。
	繊維工業	織物
袋物		8月は休みがあったことを含めても最大の売上減少。新型コロナウイルスの影響はとても大きい。
衣服		
木材・木製品	製材	・ 構造材、羽柄材に駆け込みの動きがみられた。 ・ 新型コロナウイルスの影響で、例年に比べると荷動きの落ち込みがある。 ・ プレカットは、新型コロナウイルスの影響で低調な動きとなった。 ・ 外材も構造材・羽柄材ともに前年と比べると低調な動きとなった。
	県北地区プレカット	8月の売上は前年同月比30%減少。雇用調整助成金を活用し凌いでいる。雇用調整助成金の12月までの延長は助かる。 9月の見積もりは多く入っている。
	県央地区プレカット	8月に加工を見込んでいた大型物件が延期となり、大幅に生産減少。7・8月と見積件数は増加したが、加工に至るまでの実行物件の動きが非常に鈍く、9月以降も生産量に影響が生じることが予測される。
紙・紙加工品	段ボール	8月は前年同月と比較して売上が10～30%減少した組合員が多く、大手も5～9%売上減少。6・7月は回復傾向だったものの、8月は悪化した。需要がなかなか戻ってこない。これから後半戦。体力勝負になってきている。顧客の経営状況も気になる。
印刷	総合	新型コロナウイルス感染拡大が長引き、持続化給付金・雇用調整助成金などの資金繰り支援を活用しながらの「じっと耐える営業」が続いている。
化学・ゴム	自動車部品	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	
		コンクリート製品	
		焼物	依然として新型コロナウイルスの影響が大きく、秋に延期していた第39回笠間の陶炎祭を含む笠間でのイベントは軒並み中止となった。年内のイベント活動は大変厳しい状況となり、経済活動にも多大な影響があるが、年が明けて何とか開催できる状況になることを祈っている。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	新型コロナウイルスの影響で、得意先各社のお盆休みが長期化した。その影響もあり組合員各社の休日も相対的に増えた。結果的に受注量も前年同月比で20~30%減少し、売上も同様に減少した組合員が多かった。原材料は貴金属の値上がりが激しく、材料費が高騰している。その他の金属についても値上がりの傾向である。薬品関係については大きな変動はない。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少となった。全体増減率は前年同月比80%であった。売上は前年同月比で約20%減少し不振であるが、7月の30%減少よりは回復した。輸出関連の小型建機は好調だと聞かすが、団地組合員の売上には波及していない。受注の緩やかな回復を期待するしかない。
	電気機器	重電	
輸送機器	自動車部品	下げ止まったままで底が分からない。	
	輸送車両		
その他の製造業			
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比3.58%増加。全体では取扱高は前年を上回っているが、仲卸業者・一般買受人は依然厳しい状況が続いている。また、昨年同様サンマの不漁が続いており、漁獲量は昨年を下回る予想のため今後を心配している。
		県南地区卸	組合員3社が営業休止に伴い、建物を準組合員に賃貸している。また、組合員2社が他社への売却や移転により組合脱退。
		食品卸売業	8月は野菜・果実合計で対前年同月比114%の取扱高となった。長く続いた梅雨や8月に入ってからの高温の影響によりキュウリやトマトを中心に数量が少なく、野菜の単価は1ヶ月を通して高値で推移した。果実に関しては、梅雨の間は販売面で苦戦を強いられたスイカ等は8月に入り気温の上昇とともに需要を伸ばし、価格が上昇した。また、旧盆に向けて需要を伸ばした梨やブドウは数量が圧倒的に少なく、単価高で推移する結果となった。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比で約8%増加。当期5~8月までの累計でも前年同期比で2.5%の増加。これまでの下降傾向に歯止めがかかっている。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年8月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	売上は前年同月比108%、客数は同86.4%、前年同月の売上を確保した店舗は56%であった。特に、飲食・食料の店舗が悪い結果となった。
	県央地区共同店舗	館全体の売上は前年同月比92%、食品が同101%、飲食が同86%で推移。服装はヤングに比べミセスが不調で前年同月比72%と苦戦した。夏祭りの中止、お盆の帰省者減少により厳しい夏となった。
	県南地区共同店舗	8月も売上・客数共に厳しい。特に客数に関しては、お盆やお祭り、夏休み関連のイベントや催し物ができないため大苦戦となった。前年同月比で売上は、衣料82.4%、文化品79.8%、食品92.2%、飲食93.3%、サービス77.6%、全体88.7%となった。
	クレジット	
	家電	夏の猛暑による需要増加により、テレビ、大型冷蔵庫、エアコン、洗濯機の売上が好調。業界を取り巻く環境は、新型コロナウイルスにより商売がしにくい状況で、4~7月は売上減少だったが、8月で挽回する。秋商戦がスタートするが、店舗・訪問先での感染防止に努め対応を行っていききたい。
	石油	コロナ禍による石油燃料の消費については前年の9割程度に回復しつつあるものの、8月のお盆休みの帰省者は少ないため高速道路の燃料消費は約半分程度に留まった。ガソリン販売価格は前年同月比で6円下落している。また、仕入価格は7月より上昇しているものの販売価格に転嫁できず、収益状況の改善は見られない。
	農機具	
	中古自動車	売上は前年同月比103.4%、販売台数は同89.9%、販売価格は同115.0%であった。8月は前年同月比で販売価格が大幅に上昇したことにより売上高は増加したが、販売台数は減少した。また、流通車不足の影響で仕入価格の高騰が続いているため、台当たりの収益単価は上がっておらず、業界景況が好転するにはまだ時間が必要である。
	飲食品	引き続き新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要のため、売上は好調に推移。ただ、通年の地域のお祭り・催事の中止による影響で、店舗惣菜部門の売上が停滞。9月からのマイナポイント事業開始に伴う店頭整備を行っている。今後も新型コロナウイルスの県内感染者状況を注視しながら組合運営にあたる。
商店街	水戸	
	筑西	新型コロナウイルスの影響で売上・来店客数減少。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が98.0%、軽自動車が99.8%となり、普通車・軽自動車ともに微減となった。
	ホテル・旅館	・県内各エリアにおいて売上は前年同月比60~85%となり、減収減益、景況の悪化が続いている。 ・顧客においては、多少県外からの流入が多くみられるようだが、例年のほぼ半分の数値。 ・東京都以外からの顧客は、GoToトラベル事業の利用と思われるが、団体は全くなく秋以降の予約もない。
建設業	総合	組合員各社必要な仕事量を確保できた状況になってきた。今後受注した工事を年度末に向け施工していくわけであるが現在までに受注した工事は最低制限価格競争で受注してきた工事が大部分を占めているため各社コスト削減を迫られている。土日休業はまだまだ一般化せず、休日不足の中で事故等の発生を懸念する。
	電気工事	
	管工事	
	交通安全施設	
	型枠工事	8月は連日猛暑が続く、熱中症対策が重要になっている。さらに、新型コロナウイルスへの対策も必要のため、建築現場の作業効率が下がっていることが気になる。しかし、人命は何事にも変えようがないので、あらゆる手段をもって作業環境を改善しなければならない。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年8月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非製造業	運輸業	8月の組合員数は117名、車両台数は149台で7月と比較して1名増加、1台増加となった。また、全国連合会での8月の組合員数は7,691名、車両台数は9,125台で前月と比較して18名減少、20台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向については、夏季長期休暇及び新型コロナウイルスの影響により出荷量は全体的に減少し、売上高も減少している。収益は厳しい状態が継続している。
その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	パン給食回数増加要望
	酒	酒造業者は新型コロナウイルスにより重大な経済的被害を受けており、今後の経営存続に懸念が生じている。行政への再度の持続化給付金等の財務支援のご検討をお願いしたい。
	納豆	早く経済対策をお願いしたいです。
	菓子	要望しても実現が難しい。現状を頑張り、ワクチンができること。それが一番。
小売業	石油	・新型コロナウイルスによる経営環境悪化に対する補償 ・揮発油税を課税している二重課税の廃止
建設業	総合	働き方改革は是非とも実現したい改革だが、そのために収入が減少するようであれば改革は進まない。 特に零細企業による民間工事は利益率が低くその労務単価の底上げが改革に好影響を与えると考えられる。 対策をお願いしたい。
	型枠	建設業界の人手不足が顕著になっています。ぜひ、官庁を含め業界を挙げてのアピールを実行し、新規入職者の増加を図っていただきたい。

月次景況調査 8月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比
景 況	▲ 50.0	▲ 60.0	10.0	▲ 65.4	▲ 69.2	3.8	▲ 33.3	▲ 50.0	16.7
売 上 高	▲ 42.0	▲ 52.0	10.0	▲ 76.9	▲ 57.7	▲ 19.2	▲ 4.2	▲ 45.8	41.6
収 益 状 況	▲ 52.0	▲ 70.0	18.0	▲ 73.1	▲ 76.9	3.8	▲ 29.2	▲ 62.5	33.3
販 売 価 格	▲ 4.0	▲ 8.0	4.0	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 3.8	4.2	▲ 8.3	12.5
取 引 条 件	▲ 18.0	▲ 22.0	4.0	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 3.8	▲ 16.7	▲ 29.2	12.5

中小企業月次景況調査(令和2年8月)DI値(前年同月比)

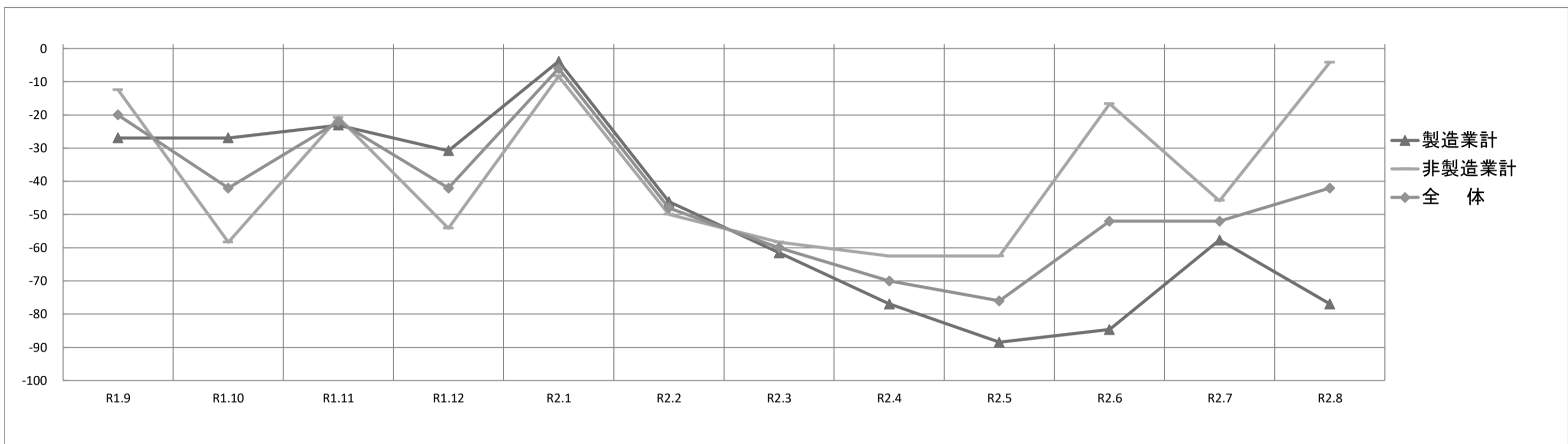
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 100.0	0	0	6	6	0.0	1	4	1	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 50.0	1	1	4	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 50.0	0	3	3	6
	繊維工業	△ 100.0	0	0	3	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3
	木材・木製品	△ 100.0	0	0	3	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 20.0	1	2	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
製造業計	△ 76.9	2	2	22	26	△ 15.4	2	18	6	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 73.1	1	5	20	26	△ 57.7	0	11	15	26	△ 57.7	1	9	16	26	△ 15.4	0	22	4	26	△ 65.4	0	9	17	26	
非製造業	卸売業	50.0	2	2	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	25.0	1	3	0	4					0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	
	小売業 (商店街含む)	△ 9.1	5	0	6	11	△ 27.3	0	8	3	11	9.1	2	8	1	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 45.5	1	4	6	11	△ 54.5	0	5	6	11					△ 9.1	0	10	1	11	△ 45.5	1	4	6	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	建設業	20.0	2	2	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5		
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2		
	非製造業計	△ 4.2	9	5	10	24	△ 33.3	0	10	5	15	4.2	3	19	2	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 29.2	3	11	10	24	△ 29.2	1	15	8	24					△ 4.2	0	23	1	24	△ 33.3	1	14	9	24	
全体	△ 42.0	11	7	32	50	△ 22.0	2	28	11	41	△ 4.0	4	40	6	50	△ 18.0	0	41	9	50	△ 52.0	4	16	30	50	△ 44.0	1	26	23	50	△ 57.7	1	9	16	26	△ 10.0	0	45	5	50	△ 50.0	1	23	26	50	

D I 値推移表 (R1.9月 ~ R2.8月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 90.0	▲ 55.0	▲ 70.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 76.9	▲ 88.5	▲ 84.6	▲ 57.7	▲ 76.9
卸売業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	25.0	50.0	0.0	50.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 63.6	▲ 9.1
サービス業	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 100.0	0.0	▲ 20.0	20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 62.5	▲ 16.7	▲ 45.8	▲ 4.2
全体	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 76.0	▲ 52.0	▲ 52.0	▲ 42.0

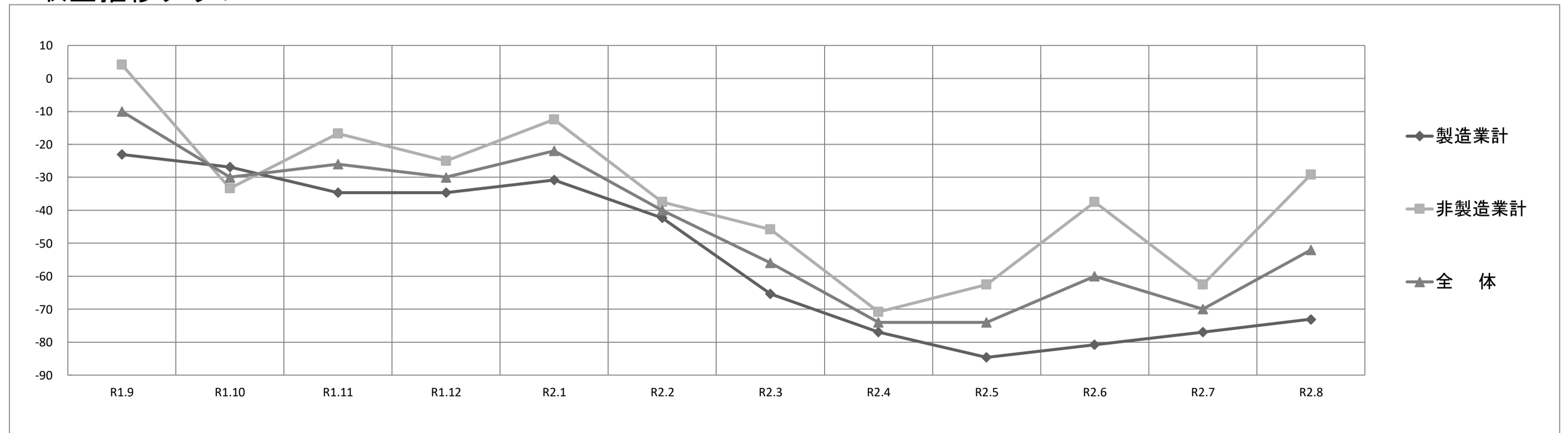
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 80.0	▲ 85.0	▲ 80.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4	▲ 76.9	▲ 84.6	▲ 80.8	▲ 76.9	▲ 73.1
卸売業	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	25.0	▲ 25.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 45.5
サービス業	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 70.8	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 29.2
全体	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 74.0	▲ 74.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 52.0

《収益推移グラフ》

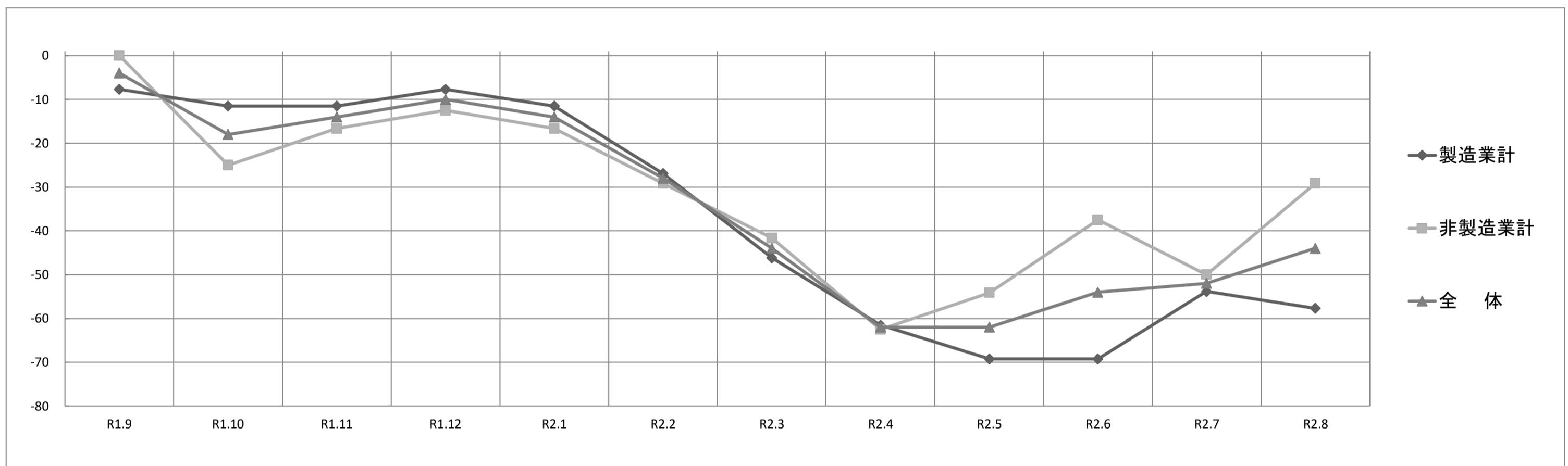


D I 値推移表 (R1.9月 ~ R2.8月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 33.3	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 55.0	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 55.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 69.2	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 57.7
卸売業	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 54.5
サービス業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 62.5	▲ 54.2	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 29.2
全体	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 62.0	▲ 62.0	▲ 54.0	▲ 52.0	▲ 44.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 85.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 75.0	▲ 70.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 69.2	▲ 65.4
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 72.7	▲ 45.5
サービス業	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	20.0	20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 33.3
全体	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0	▲ 78.0	▲ 72.0	▲ 62.0	▲ 60.0	▲ 50.0

《景況推移グラフ》

